

市議会議員
かけのまち子
電話/Fax 53-7727
kakenom@xj.commufa.jp



市議会議員
みわ 陽子
電話/Fax 54-6712
yokko0520mi@yahoo.co.jp



NO. 494 2021.9.16
日本共産党江南市委員会

あすの江南

前市議 森ケイ子 電話/Fax 57-2753
前市議 東よしき 電話/Fax 54-7977

* 困り事は早めにお気軽にご相談ください

日本共産党江南市議員団 HP

検索

9月議会
一般質問

学びを深めるタブレット学習を みわ陽子議員

◆ 通信費の補助を、ICT 支援員の配置を

小・中学校で一人一台配布されたタブレットを夏休みに持ち帰った家庭が多くありました。Wi-Fi 環境のない家庭には市で購入したルーターを貸し出しましたが、契約料や通信費の補助はありませんでした。自宅で皆が公平に使用するには通信費などの補助が必要といただきましたが、すでに Wi-Fi 環境を整えている家庭との公平性から補助はできないとの答弁でした。

ただし、生活保護の家庭には教材代として通信費を支給できるとのことでした。

2学期からタブレットを使った授業が本格化します。トラブルに対応したり、学びを深めたりするためには、ICT 支援員が必要です。文科省も4校に1人の配置のための予算措置をしています。

市ではシステムの保守点検業者がトラブル発生時は駆け付け、月1回程度学校を巡回しており、その回数を増やすことを検討している。また市指導主事が授業での活用方法などを指導しているので配置する考えはないとの答弁でした。



聴力障害は手帳取得で9割補助 軽度難聴者にも補聴器補助を

両耳聴力レベル70デシベル以上の方は障がい者手帳が取得でき、多少条件はありますが、ほとんどの人が1割負担で補聴器が購入できることを確認しました。この制度を使っている方が少ないので、周知徹底するよう要望しました。

30デシベルから65デシベルまでの軽度の難聴の人にも補聴器を付けることで会話への参加がスムーズになり、認知症予防にもなります。相手の話が聞きづらいと会話がおっくうになり、認知症になったり、引きこもったりすることがあるという専門家の意見があります。

江南市でも補聴器購入補助をと求めましたが、補助を行うことによる認知症予防の明確な根拠がないこと、まだ近隣市町で補助を行っている自治体が少ないことなどの理由で今後調査・研究を進めていくとの答弁でした。

地域公共交通計画を策定し交通政策の転換を かけのまち子議員

「移動困難者を調査しニーズを把握。求められる公共交通のあり方を検討」と前向き答弁

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の一部改正で、地域自らが地域の公共交通をデザインしていく地域公共交通マスタープランともいべき計画の策定が、すべての自治体の努力義務となりました。

2018年3月に作られた【江南市における地域公共交通の基本的な考え方（10年間）】のちょうど中間見直し時期でもあります。地域の移動ニーズの変化に対応したきめ細かな計画を作成し、市公共交通政策を転換するよう求めました。

また、今年8月の地域公共交通会議で承認された2021年度対応方針に、「既存の公共交通の利用が難しい移動困難者の有無を把握し、そのニーズを踏まえ、今後求められる公共

交通の在り方について検討する」とあるが、具体的な取り組みは何か、ただしました。

答弁では「現時点ではただちに公共交通政策を転換する状況ではないが、公共交通の評価が著しく悪化した場合や、議会の総意により公共交通の再編を求められた場合などは、【基本的な考え方】の計画期間途中であっても地域公共交通計画の作成を検討する」また、「高齢者生きがい課とも連携し、いこまいCARや路線バスでニーズを満たすことができない移動困難者を調査し分析していく」とし、市内公共交通の再編と方針転換の検討につなげる方向であることがわかりました。



「資源ごみを出しやすく」 質問とビラに大きな反響

6月議会一般質問で、かけのまち子議員が取り上げ、その内容をまとめた明日の江南（カラー版）に大きな反響が。

9月議会では、3会派5人の議員が、資源ごみの出し方の改善を求めて、次々と一般質問に登壇しました。

「資源ごみをもっと出しやすくしてほしい」・・・市民にとっていかに切実な問題かが改めて浮き彫りになりました。



総選挙勝利めざす国政報告会(8/29)

すいとぴあ江南多目的ホールで開催した、総選挙勝利をめざす日本共産党国政報告会に、会場いっぱいにご参加いただきありがとうございました。

もとむら伸子衆議院議員（写真左）、いたくら正文（愛知10区）一宮尾北地区委員長から、なんとでも政権交代をとの力強い決意表明がありました。会場で訴えた「熱海市など全国の豪雨災害救援募金」に対し、40,965円もの募金が寄せられました。心から感謝申し上げます。募金は日本共産党中央委員会に送付させていただきました。